

事業番号	事務事業名	産後ケア事業	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
02305	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	子育て支援係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町産後ケア事業実施要項	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	出産し退院直後の母子に対して、医療機関で宿泊により心身のケアや育児のサポート、相談等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する事を目的として、令和2年度より本事業を開始した。 ・対象者…町内に住所がある産後1年以内の母子 ・利用期間…1回の出産につき6泊7日 ・助成額…生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯→2万8千円、市町村民税課税世帯→2万7千円(1日当たり) ・委託契約→申請受付→審査→請求書受取→委託料支払	近年の少子化、核家族化、女性の社会進出等に伴い、母子保健の分野において新たに様々な課題が表出している状況の中、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実施するため、令和2年度から本事業を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	産後1年以内の母子	→	ア	組	見込 実績		3 0	2 0	2	2
イ		→	イ		見込 実績					
ウ		→	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	子育ての不安を解消	→	ア	人	目標 実績 達成率		3 0 0.0%	2 0 0.0%	2	2 0.0%
イ		→	イ		目標 実績 達成率					
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	制度の広報	→	ア	回	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	90 82 91.1%	90	90 91.1%
イ	申請受付、審査	→	イ	件	目標 実績 達成率		3 0 0.0%	2 0 0.0%	2	2 0.0%
ウ		→	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 02		大事業 01		中事業 06		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		予防費		01		06		産後ケア事業			
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比				
国庫支出金		294	196	130	130	-98	国庫支出金	0	0	130	130					
県支出金		0	0				県支出金	0	0							
町債		0	0				町債	0	0							
その他特財		0	0				その他特財	0	0							
一般財源	363	294	198	132	132	-96	一般財源	0	0	132	132					
合計	363	588	394	262	262	-194	合計(A)			262	262	0				
財源名称	母子保健衛生費国庫負担額						従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20				
							人件費計(千円)(B)	70	67	67	68	68	0			
	最終予算額		394 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)	70	67	67	330	330	0		
主な 支出事業内容 (予 算)	通信運搬費				2 千円		主な 支出事業内容 (決 算)	通信運搬費				0 千円				
	委託料 委託料(物)				392 千円			委託料 委託料(物)				0 千円				

事業番号	02305	事務事業名	産後ケア事業	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	--------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
少子化、核家族化、女性の社会進出等に伴い、子育てについて相談することや家族等から援助を受けることが困難な保護者が増加している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
産後ケア事業を市町村の努力義務とする改正母子保健法が令和元年12月に成立。令和2年度から津山中央病院、赤堀病院、福田産婦人科、石井医院の4つの医療機関と契約、事業を開始した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
子育て世帯の不安や悩みを相談する場や支援に繋がると期待が多く寄せられ、今後のさらなる事業の周知が望まれている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 子育てしやすい環境の整備を図るための事業であるため、町の施策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 子育てについて相談したり家族等から援助を受けることが困難な保護者を支援する事業であるため、行政が取り組むべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 子育てについて相談することや家族等から援助を受けることが困難な保護者を支援する事業であるため、対象は適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 対象者には、転入者も含め全数周知はしているが、周知方法については向上の余地があり、成果向上させる手段はあると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 子育てしやすい環境の整備を図るとともに、虐待や産後うつ等の防止につなげる狙いもあるため、この事業の廃止は子育てへ悪影響を及ぼす。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 より一層の事業の周知により成果の向上が見込める。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業に必要な最低限の費用で賄っているため、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 兼務で事業をしているので見直しは不可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 所得に応じて控除額が決まっており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和2年度から事業を開始、産後ケア用のチラシを作成・配布。令和3年度からは子育て支援事業をまとめたチラシを作成し産後ケア事業も掲載、妊娠届提出時や妊婦の転入時に配布し周知を図った。 制度の周知により事業の成果の向上がみこまれるため、今後も周知に努めたい。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 令和2年度から実施の事業であり、比較的制度の認知度が低いと感じられる。今後も継続して窓口での周知に努める。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>▽</td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△		低下			▽
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			△																					
	低下			▽																					